

令和2年度全国学力・学習状況調査及び

大分県学力定着状況調査分析と改善方法について

1. 実施について

令和2年度全国学力・学習状況調査については、新型コロナウイルス感染症の状況により中止となった。令和2年度大分県学力定着状況調査については、総合質問紙のみを小学校5年生、中学校2年生対象に実施した。

2. 総合質問紙の結果の概要と分析および改善策

小学校

- 思いを伝える力、社会参画、学習習慣の категорияで全国値に比べ良好な状況である。
- 新型コロナウイルス感染症による休校も影響していると考えられるが、「自己肯定感の低さ」や「対人ストレスの高さ」が課題である。児童相互・児童教師間の信頼関係や人間関係を深めていくこと、また、小さなサインも見逃さないようアンテナを張り、教職員間、保護者等との連携をすることが必要である。

中学校

- 感動体験、規範意識、社会参画、生活習慣、学習習慣の категорияで全国値に比べ良好な状況である。
- 授業についての学習内容のまとめや振り返り、話し合い活動について肯定的な回答が高いことから、授業改善の効果があがっている。
- 「対人ストレス」「いじめのサイン」については、肯定的な回答が低いことから、生徒1人ひとりの様子や友だちの関係について日常的に把握し、チームとして組織的な生徒指導をしていくことが重要である。